

ようこそ!伊賀の玄関 柘植駅へ



滋賀県の本気度を実感!
我々も盛り上げていこう

イコカで強まる 滋賀(草津線)との関係



3月17日(土)午前10時31分、伊賀市長をはじめ滋賀県知事、甲賀市長らに乗せた「SHINOBURI・TRAIN(忍者列車)」が柘植駅3番ホームに入ってきました。

この日は、草津線のICOCA利用エリア拡大の初日であり、直前に行われた甲賀駅での盛大なセシモニーを受け、終点の柘植駅まで来賓の方々の乗車初めとなりました。



降り立った方々は跨線橋を渡り、1番ホームの東端にて、伊賀市主催(柘植地域まちづくり協議会共催)のセシモニーにご参加いただきました。

草津線複線化促進期成同盟会会長でもある三日月大造滋賀県知事、続いて岡本栄市長、半田三都生協議会代表からのあいさつの後、アトラクションとして、いがまち公民館活動として活動されている「シルバー混声コーラス」(上写真)ならびに鉄道OB会による鉄道唱歌の披露がありました。セシモニーの後には、知事や市長らがコーラスメンバーにねぎらいの言葉をかけるなど、楽しい雰囲気でした。

※「鉄道唱歌」の歌詞については205号を参照してください。

伊賀市にとって柘植駅は滋賀県との大切な出入口、また亀山や津・伊勢への橋渡しポイントでもあり、その存在価値はもっと評価されるべきです。



柘植地域

まちづくりだより 第209号

発行 柘植地域まちづくり協議会事務局
三重県伊賀市柘植町一〇六四七番地
(柘植地区市民センター内)

〒五二九-1402

電話 四五-八八八〇 FAX 四五-八八八三

発行日 二〇一八(平成三十)年四月一日(日)

柘植地域俳句コーナー

春耕の

土の黒さに

勇みたり

富山文夫



柘植駅を柘植地域だけの存在としてではなく、伊賀市全体、三重県全体としても重視していただく必要を委員会としては考えています。

甲賀駅での式典(主催:JR西日本、協力:滋賀県、甲賀市、伊賀市他)では、JR西日本京都支社副支社長が「甲賀、伊賀の方々に、より草津線を利用してほしい」、甲賀市の岩永裕貴市長は「市民の長年の願いがかなった。利便性向上の効果は大きい」、伊賀市の岡本栄市長は「このシステムを生かして、地域振興をしていきたい」と、それぞれ祝辞を述べていきます。そして、盛大にテープカットが行われました。

また、甲賀駅前では地域挙げて、マルシェの開催や子ども制服撮影会などが行われ、滋賀県・甲賀市の草津線に対する意気込みが感じられます。

転車台跡地、どうなる?



柘植駅でのセシモニーを片付けた後、転車台跡地と大林よろい・工芸品製作館を巡る柘植駅発着のミニツアードワークを実施しました。

駅の草津線寄りにある昔の転車台跡地は、草木がまします茂り、徐々に存在が分からなくなってきました。(↑写真)

よろい・工芸品製作館(写真↓)は、伊賀まちかど博物館として一般の方の見学も可能です。(要予約。柘植町9473-15番地 ☎45・5567 大林忠夫さん)



大林よろい・工芸品製作館

有名武将の甲冑の補修復元も手がけたことのある館長は、「甲冑師」として先代からの技を受け継いでいます。甲冑製作に必要な道具や材料、補修、復元中の甲冑も館長の神秘とロマンの世界が感じられます。伊賀まちかど博物館のHPより転載

冬を飾ったイルミネーションを撤去



セシモニーに先立ち、冬の間に柘植駅前を明るくし、秋のイルミネーションを撤去しました。次回は、秋のイルミネーションを撤去したいと思います。

「柘植のステーション案内」発行

まちづくり協議会と伊賀の文化を発信する市民グループ・ランプの会が協力して、柘植駅「ICOCA」カード開始記念『柘植のステーション案内』(B6サイズ4頁)を発行しました。



- 第1話: 柘植の地名のいわれ
- 第2話: 関西鉄道設立物語
- 第3話: 東柘植のステーション物語
- 第4話: 東柘植のランプ小屋物語

※ご希望の方は、まちづくり協議会事務局(市民センター)または柘植駅窓口にお問い合わせください。(期間限定)

将来、立派な花や実になりますように



保育園 卒園記念樹 植栽
3月15日、いがまち造園組合様による卒園記念樹(サクランボ)植栽行事が柘植保育園で行なわれました。



また、伊賀市行政には撤去・廃棄にかかる費用を減免してもらうなど、協力して撤去に取り組みました。
柘植地域の環境美化保全のために、監視の目を光らせましょう。

今年度も精力的にパトロールや撤去作業をしていただけに、この事実は残念ですが、「不法投棄は犯罪である」ことをふまえ、警察とも協力して証拠物件から廃棄した人物の割り出しをしてもらっています。



3月19日(月)午前、中柘植地内、農免道路の枝道で発見された不法投棄物を撤去しました。
生活環境部会

許すな! 不法投棄
警察・伊賀市行政と協力してひとまず撤去!

**不法投棄を
発見したら
すぐ区長・
まち協へ!**

今後の、柘植地域の山林環境を少しでも良好な状態にしていくべく、来年度は実行委員会形式で組織化を図り、各区山林担当者を集めた会議を数回開き、実状をふまえ、意識の共有を図り、地域としてできることから計画を導き出そうということになりました。

最初に、三重大学大学院生物資源学研究所坂本竜彦教授による「地域の森づくりを地域のみなさんの手で!」との講演をいただき、その後、県職員や市職員を交えた座談会を行いました。

3月23日(金)午後、柘植地区市民センターで農林振興課の指導の下、約15名が集まり、これからの柘植地域の山林についての話し合いをしました。

「森を考える座談会」より
生活環境部会



♪君と出会った幸せを かみしめながら 歩いていこうこれからも ずっと

たのしい学び舎



21名

柘植小学校 卒業式
3月16日(金)午前、柘植小学校体育館で卒業式が催されました。



新しいステージで大きくはばたけ!

斎王群行9月24日開催を内定

3月27日(火)夜、今年度(第15回)の斎王群行反省会ならびに来年度の事業実施について検討会議が開かれました(13名参加)。

議論の結果、地域行事としてつながりづくりなど重要性があるため、来年度も引き続き実施(9月24日)することになりました。



また、準備運営には負担が多くあるため、活動全般を縮小していく。特に外部への依頼事項や昼食準備については縮小を具体化する。それに関係してくる予算確保の方法も検討する。

加えて、活動するメンバー(実行委員)についてはそれぞれの役割を明確化し、区との連携も深められる体制をとる。等々のことが来年度以降の方向性として整理されました。

斎王実行委員会

大ホールの閉鎖(最適化計画)

についての行政説明・懇談会

3月15日(木)夜、ふるさと会館いが小ホールで、「伊賀支所庁舎及び周辺施設複合化整備基本構想」の説明会が行われました。

今回は、柘植地域住民だけでなく、西柘植や壬生野の方、それ以外の市民の方も参加されました。(約50名)

中日新聞にも掲載(3/17付)されていましたが、平成27年3月に策定された計画通り、平成31年3月をもって大ホールは閉鎖予定であり、大ホール機能存続のためには、住民でクラウドファンディングや会費収入などで維持費等を生み出す案もありうるということが市より示されました。

しかし、それも「9月までに提案すること」と期限を設けられています。

加えて、柘植公民館も平成31年3月に閉鎖が予定されています。

市は、具体的な計画の中身を長期間にわたり住民と懇談してこなかった点については反省の弁がありました。今後も次々に出てくる課題に対して、住民と行政がこまめに情報共有することを強く要望していきたいと思っております。



★☆☆事務局だより☆☆★
▼今号の編集は3月末にしておりましたが、お手元に届くのは年度が替わっていることでしょうか。▼気候はすでに春。4月になると気持ちの上でも変化が見られるものですね。心機一転、地域のために頑張ります。▼現在、事務局では各種事業のまとめや総会に向けた来年度事業の構築など事務処理を進めています。▼総会は4月14日(土)午後7時30分です。総会構成員の方には別途案内が届きますが、届いていない場合は当日受付です。(西田方計)